

公共交通ニュース vol.24 2015.1.26

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”
 ~市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通~

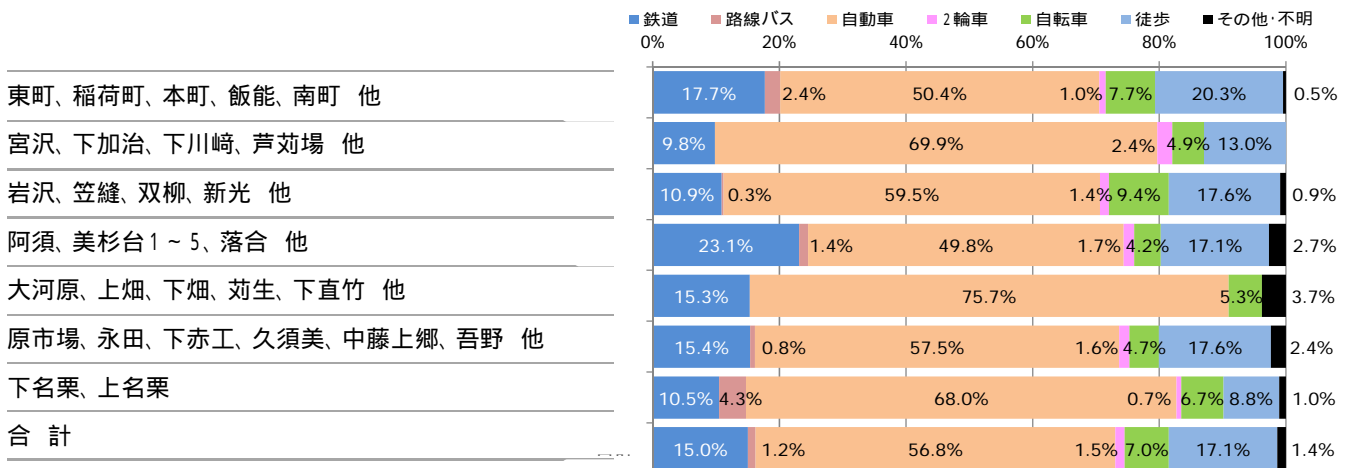
市民の移動実態

平成24年11月に市内3,000世帯を対象に実施したアンケート調査において、買物、通院、金融機関への移動の60%超が自動車利用で、バス利用は3.4~4.7%となっています。詳しくは「公共交通ニュースVol.21」をご覧ください。

平成20年に調査した東京都市圏パーソントリップ調査（東京都市圏交通計画協議会）の結果でも、自動車の利用率が最も高く、全地区合計で56.8%となっています。バスの利用率は、合計で1.2%、鉄道は15.0%であり、自動車依存率の高さが分かります。また、バスについては、鉄道路線のない名栗地区でも、鉄道10.5%に対し、バス4.3%となっており、「選ばれない」移動手段となっているようです。なお、下の図が市内を発着とする代表交通手段の構成比です。

代表交通手段：出発地から目的地まで主に、最も長く利用すると考えられる交通手段を表わす。

図 代表交通手段構成比



【東京都市圏パーソントリップ調査】（パーソン=人、トリップ=動き）

「どのような人が」「どのような目的で・交通手段で」「どこからどこへ」移動したかなどを調査するもの。調査に基づき、鉄道や自動車、徒歩といった各交通手段の利用割合や交通量などを求めることができる。調査対象区域は東京都市圏（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県南部）。

バスが選ばれない理由として、時間がかかる、運賃が高いなどが考えられますが、運行していないと困るのは地域の方々です。本市の路線バスは、通勤通学者を除くと、大部分が観光客や市外から通勤通学されている方の利用となっています。市外からの方は、退職や卒業を迎えると、ほとんどの方は利用しなくなると思います。しかし、飯能市に住んでいる方、沿線に住んでいる方は、退職や卒業をしても、バスを利用する機会があります。家族が利用するかもしれません。

利用者の減少や乗務員不足により全国的にバス事業は厳しい状況で、人口減少社会の中、状況はますます厳しくなるものと考えられています。今、利用しないと将来運行している保障はありません。利用したいときにバスがなかったらどうしますか？

「あればいいね」ではなく、「あって良かった」のバス。交通手段の選択肢に「路線バス」を加え、そして、今だけでなく、将来のことを考え、選んでいただき、積極的に利用していただきますようお願いいたします。

公共交通ニュースは地区行政センター及び市ホームページでご覧いただけます。

飯能市企画総務部企画調整課
 総合政策・交通政策担当